

日本経済新聞 第十一号 一九七二年三月二十一日

に行つたと。で仕事が終わつて帰つてきてつから、薄暗くなるころ、そこで、ビニルと、あれなんだー万弥ちゃん的身體をちっちゃく縛つて、それで、リックへ詰めて、自転車に乗せて、河原へ捨てたと。そういうことなんだな。

菅家……。

加藤村…それは、万弥ちゃんのことだな。万弥ちゃんは、前に見たことあるか。

菅家…ありません。

加藤本…そうすつと初めて見たつてことか。

菅家…はい。

加藤本…てことは、万弥ちゃんてことは知んねがつたんだな。

菅家…流れ的には。

加藤本…流れでは。

加藤村…万弥ちゃんていうことはさ。

菅家…はい。

加藤村…その後、何で万弥ちゃんてことが分かつた。名前を。

菅家…新聞ですか。

加藤本…うん。……新聞で分がつたの。おめーのこと取調べて、犯人だんべ。おめーんとこ、警察官来なかつたんだべ。調べに。

菅家…来ませんでした。

加藤本…来なかつた。家へは。

菅家…来ません。

加藤本…来なかつた。

菅家…はい。

加藤本…じゃ、別にあのー調べたり、聞かれたりしたことなかつたんか、おめー。